



第3章

強い農業の創造に向けた取組

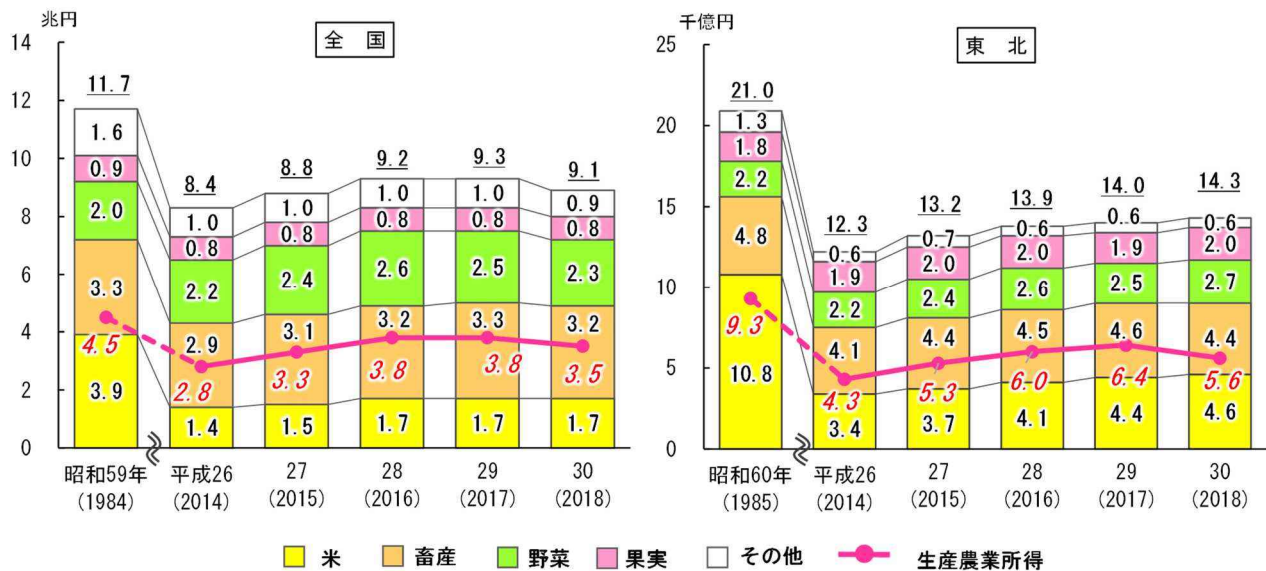
第3章 強い農業の創造に向けた取組

1. 農業産出額

(野菜、米、果実等の増加により、農業産出額は4年連続の増加)

- 東北の農業産出額は、昭和 60(1985)年の2兆 1,000 億円をピーク(全国は昭和 59(1984)年がピーク)に減少傾向で推移し、平成 26(2014)年には1兆 2,300 億円となりましたが、平成 27(2015)年以降は4年連続で増加し、平成 30(2018)年は1兆 4,300 億円となっています(図表 3-1)。
- 平成 30(2018)年の農業産出額の増減を寄与度でみると、野菜、米、果実の増加が要因となっています(図表 3-2)。
- 平成 30(2018)年の生産農業所得は、農業産出額が増加したものの、全国と同様に光熱動力費を中心に物的経費が増加したこと等から4年ぶりに減少し、5,600 億円となっています(図表 3-1)。

図表 3-1 農業産出額及び生産農業所得(全国・東北)



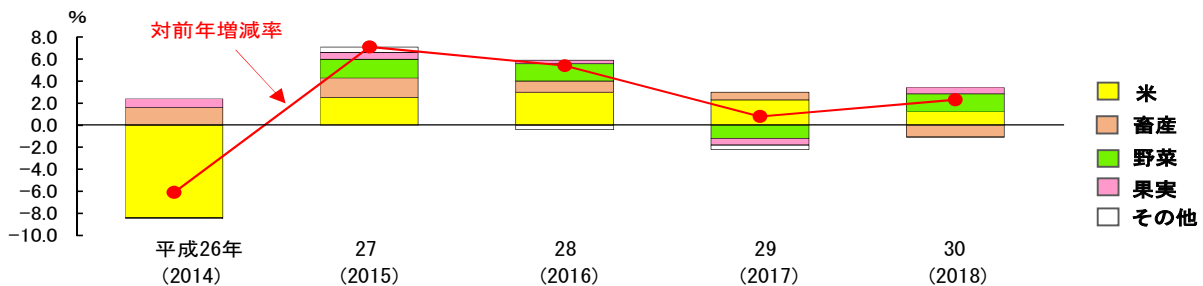
農業産出額とは

農業生産活動によって生み出された品目別生産数量に、販売価格から出荷販売に要した経費を控除した額を乗じて算出したもの(消費税を含む)。

生産農業所得とは

農業産出額から農業生産のために投入された種苗費、肥料費等の物的経費を控除し、経常補助金等を加算したもの。

図表 3-2 農業産出額の対前年増減率と主要部門別寄与度の推移(東北)



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

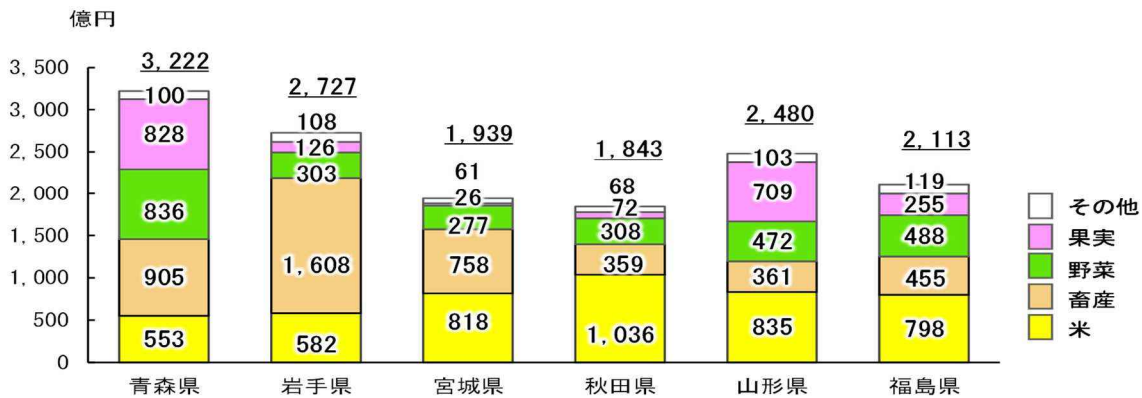
注：1) 全国は、都道府県間で取引された種苗、子豚等の中間生産物を除いて全国を単位として推計した農業総産出額、東北は、県別推計を積み上げた農業産出額である。

2) その他は、麦類、穀類、豆類、いも類、花き、工芸農作物、その他作物及び加工農産物の合計値である。

(全国第20位までに東北全県がランクイン)

- 平成30(2018)年における東北の農業産出額を県別にみると、青森県が3,222億円(全国第7位)、岩手県が2,727億円(全国第10位)、宮城県が1,939億円(全国第18位)、秋田県が1,843億円(全国第19位)、山形県が2,480億円(全国第12位)、福島県が2,113億円(全国第17位)で、全県が全国20位以内にランクインしています(図表3-3)。
- 各県の農業産出額を主要部門別にみると、青森県は果実、野菜及び畜産の割合が高く、岩手県は畜産の割合が約6割となっています。秋田県は米が5割を超え、宮城県、山形県及び福島県の3県も米の割合が高くなっています(図表3-3)。
- 農業産出額の主要部門別全国順位をみると、米は秋田県が全国第3位のほか、青森県を除く4県が全国10位以内となっています。
果実は青森県が前年から順位を上げて全国第1位となったほか、山形県及び福島県が全国10位以内となっています(図表3-4)。

図表 3-3 農業産出額(県別)(平成30(2018)年)



図表 3-4 主要部門における農業産出額の全国順位(都道府県別・上位10位)

順位	農業産出額計				米				野菜			
	都道府県	産出額	全 国	%	都道府県	産出額	全 国	%	都道府県	産出額	全 国	%
		億円	シェア			億円	シェア			億円	シェア	
1	全 国	91,283	100.0		全 国	17,513	100.0		全 国	23,212	100.0	
2	北海道	12,593	13.8		新潟県	1,445	8.3		北海道	2,271	9.8	
3	鹿児島県	4,863	5.3		北海道	1,122	6.4		茨城県	1,708	7.4	
4	茨城県	4,508	4.9		秋田県	1,036	5.9		千葉県	1,546	6.7	
5	千葉県	4,259	4.7		茨城県	868	5.0		熊本県	1,227	5.3	
6	宮城県	3,429	3.8		山形県	835	4.8		愛知県	1,125	4.8	
7	熊本県	3,406	3.7		宮城県	818	4.7		群馬県	983	4.2	
8	青森県	3,222	3.5		福島県	798	4.6		長野県	905	3.9	
9	愛知県	3,115	3.4		千葉県	728	4.2		青森県	836	3.6	
10	栃木県	2,871	3.1		栃木県	714	4.1		埼玉県	833	3.6	
	岩手県	2,727	3.0		岩手県	582	3.3		栃木県	815	3.5	

順位	果実				肉用牛				鶏			
	都道府県	産出額	全 国	%	都道府県	産出額	全 国	%	都道府県	産出額	全 国	%
		億円	シェア			億円	シェア			億円	シェア	
1	全 国	8,406	100.0		全 国	7,416	100.0		全 国	8,999	100.0	
2	青森県	828	9.9		鹿児島県	1,266	17.1		鹿児島県	984	10.9	
3	和歌山	748	8.9		北海道	1,016	13.7		宮城県	827	9.2	
4	長野県	714	8.5		宮城県	768	10.4		岩手県	761	8.5	
5	山形県	709	8.4		熊本県	430	5.8		茨城県	497	5.5	
6	山梨県	629	7.5		岩手県	284	3.8		千葉県	446	5.0	
7	愛媛県	530	6.3		宮城県	276	3.7		青森県	424	4.7	
8	熊本県	327	3.9		長崎県	259	3.5		北海道	357	4.0	
9	静岡県	298	3.5		沖縄県	223	3.0		岡山県	332	3.7	
10	福島県	255	3.0		栃木県	208	2.8		兵庫県	289	3.2	
	岡山県	245	2.9		兵庫県	184	2.5		広島県	256	2.8	

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

- 注：1)その他は、麦類、雑穀、豆類、いも類、花き、工芸農作物、その他作物及び加工農産物の合計値である。
ただし、平成30(2018)年の青森県及び山形県は秘匿情報が含まれているため、農業産出額計から米、畜産、野菜、果実を差し引いた値である。
2)統計数値については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

(農業産出額全国上位30市町村までに東北の4市がランクイン)

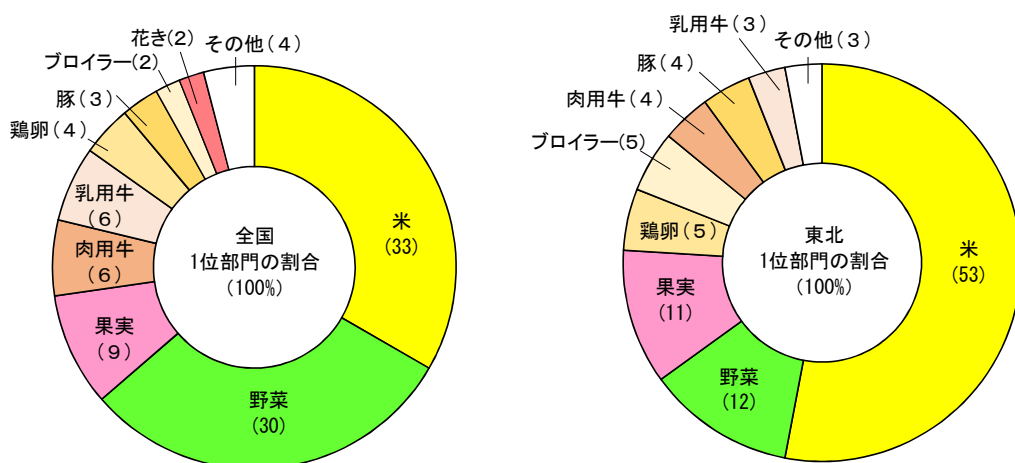
- 平成30(2018)年の市町村別農業産出額全国上位30市町村をみると、青森県弘前市が429億8,000万円(全国第11位)、宮城県登米市が333億4,000万円(全国第23位)、山形県鶴岡市が325億6,000万円(全国第25位)、岩手県一関市が313億3,000万円(全国第27位)で、東北の4市がランクインしています(図表3-5)。
- 全国の市町村における農業産出額1位部門の割合をみると、米が最も高く33%を占め、次いで野菜が30%、果実が9%となっています。
東北の市町村においても全国と同様に、米、野菜、果実の割合が高くなっていますが、中でも米が53%と約半数を占めています(図表3-6)。

図表 3-5 農業産出額上位30市町村(全国)(平成30(2018)年)

単位：1,000万円

順位	市町村	農業産出額	上位部門		順位	市町村	農業産出額	上位部門	
			1位	2位				1位	2位
1	田原市(愛知県)	8,487	野菜	花き	16	香取市(千葉県)	3,685	米	野菜
2	都城市(宮崎県)	7,541	豚	肉用牛	17	那須塩原市(栃木県)	3,663	乳用牛	米
3	銚田市(茨城県)	7,084	野菜	豚	18	宮崎市(宮崎県)	3,637	野菜	肉用牛
4	別海町(北海道)	6,602	乳用牛	肉用牛	19	曾於市(鹿児島県)	3,625	肉用牛	豚
5	新潟市(新潟県)	5,865	米	野菜	20	八代市(熊本県)	3,595	野菜	米
6	旭市(千葉県)	5,229	野菜	豚	21	大崎町(鹿児島県)	3,493	ブロイラー	野菜
7	浜松市(静岡県)	4,867	果実	野菜	22	小美玉市(茨城県)	3,416	鶏卵	野菜
8	熊本市(熊本県)	4,736	野菜	果実	23	登米市(宮城県)	3,334	米	肉用牛
9	鹿屋市(鹿児島県)	4,422	肉用牛	豚	24	北見市(北海道)	3,293	野菜	乳用牛
10	豊橋市(愛知県)	4,342	野菜	豚	25	鶴岡市(山形県)	3,256	米	野菜
11	弘前市(青森県)	4,298	果実	米	26	幕別町(北海道)	3,144	乳用牛	野菜
12	南九州市(鹿児島県)	4,134	鶏卵	工芸農作物	27	一関市(岩手県)	3,133	米	ブロイラー
13	志布志市(鹿児島県)	4,115	豚	肉用牛	28	大田原市(栃木県)	3,042	米	野菜
14	菊池市(熊本県)	3,865	肉用牛	乳用牛	29	深谷市(埼玉県)	2,996	野菜	花き
15	前橋市(群馬県)	3,757	豚	野菜	30	久留米市(福岡県)	2,978	野菜	米

図表 3-6 市町村における農業産出額1位部門の割合(全国・東北)(平成30(2018)年)



資料：農林水産省「平成30年市町村別農業産出額(推計)」

注：1)統計数値については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。
2)鶏部門については、鶏卵及びブロイラーに区分して表章した。

(米の農業産出額全国上位20市町村までに東北の12市町村がランクイン)

- 平成30(2018)年の部門別農業産出額の全国上位20市町村をみると、米では半数以上を占める12市村、ブロイラーが6市町村、果実及び鶏卵がそれぞれ4市町、肉用牛が2市、豚が1市ランクインしています(図表3-7)。
- 主要部門のうち米をみると、秋田県大仙市が153億円で、新潟県新潟市に次ぐ全国第2位となっており、また、全国10位以内のうち7市村が東北となっています。
- 一方、米以外の部門をみると、果実は青森県弘前市が全国第1位、ブロイラーは岩手県二戸市が全国第2位、鶏卵は宮城県色麻町が全国第6位、肉用牛は宮城県登米市が全国第7位、豚は岩手県一関市が全国第17位となっています。

図表3-7 部門別農業産出額の上位20市町村(全国)(平成30(2018)年)

米					果実						
順位	市町村	産出額	順位	市町村	産出額	順位	市町村	産出額	順位	市町村	産出額
1	新潟市(新潟県)	3,243	11	栗原市(宮城県)	1,178	1	弘前市(青森県)	3,576	11	有田川町(和歌山県)	1,031
2	大仙市(秋田県)	1,530	12	つがる市(青森県)	1,031	2	笛吹市(山梨県)	2,036	12	福島市(福島県)	1,019
3	長岡市(新潟県)	1,530	13	郡山市(福島県)	990	3	浜松市(静岡県)	1,601	13	長野市(長野県)	985
4	鶴岡市(山形県)	1,408	14	富山市(富山県)	960	4	東根市(山形県)	1,454	14	中野市(長野県)	958
5	上越市(新潟県)	1,391	15	新発田市(新潟県)	955	5	甲州市(山梨県)	1,386	15	宇和島市(愛媛県)	955
6	登米市(宮城県)	1,349	16	酒田市(山形県)	951	6	天童市(山形県)	1,325	16	南アルプス市(山梨県)	921
7	横手市(秋田県)	1,304	17	花巻市(岩手県)	896	7	田辺市(和歌山県)	1,129	17	みなべ町(和歌山県)	894
8	大崎市(宮城県)	1,237	18	岡山市(岡山県)	886	8	八幡浜市(愛媛県)	1,094	18	須坂市(長野県)	756
9	大潟村(秋田県)	1,230	19	大田原市(栃木県)	838	9	紀の川市(和歌山県)	1,093	19	熊本市(熊本県)	741
10	奥州市(岩手県)	1,196	20	香取市(千葉県)	825	10	山梨市(山梨県)	1,092	20	松山市(愛媛県)	739

肉用牛					豚						
順位	市町村	産出額	順位	市町村	産出額	順位	市町村	産出額	順位	市町村	産出額
1	都城市(宮崎県)	1,959	11	えびの市(宮崎県)	705	1	都城市(宮崎県)	2,054	11	田原市(愛知県)	856
2	鹿屋市(鹿児島県)	1,553	12	指宿市(鹿児島県)	686	2	旭市(千葉県)	1,734	12	川南町(宮崎県)	741
3	曾於市(鹿児島県)	1,287	13	霧島市(鹿児島県)	614	3	志布志市(鹿児島県)	1,600	13	菊池市(熊本県)	702
4	菊池市(熊本県)	1,106	14	出水市(鹿児島県)	542	4	銚田市(茨城県)	1,480	14	那須烏山市(栃木県)	633
5	志布志市(鹿児島県)	1,087	15	唐津市(佐賀県)	527	5	桐生市(群馬県)	1,393	15	森町(北海道)	610
6	小林市(宮崎県)	1,020	16	白老町(北海道)	510	6	鹿屋市(鹿児島県)	1,114	16	日南市(宮崎県)	605
7	登米市(宮城県)	894	17	一関市(岩手県)	509	7	曾於市(鹿児島県)	1,007	17	一関市(岩手県)	596
8	士幌町(北海道)	894	18	宮崎市(宮崎県)	505	8	前橋市(群馬県)	924	18	洪川市(群馬県)	583
9	鹿児島市(鹿児島県)	716	19	帯広市(北海道)	489	9	成田市(千葉県)	898	19	南九州市(鹿児島県)	513
10	石垣市(沖縄県)	708	20	西都市(宮崎県)	466	10	伊佐市(鹿児島県)	880	20	えびの市(宮崎県)	501

鶏卵					ブロイラー						
順位	市町村	産出額	順位	市町村	産出額	順位	市町村	産出額	順位	市町村	産出額
1	小美玉市(茨城県)	1,536	11	坂東市(茨城県)	704	1	大崎町(鹿児島県)	2,317	11	小林市(宮崎県)	582
2	南九州市(鹿児島県)	941	12	鈴鹿市(三重県)	637	2	二戸市(岩手県)	2,157	12	川南町(宮崎県)	543
3	庄原市(広島県)	861	13	石岡市(茨城県)	629	3	都城市(宮崎県)	1,547	13	錦町(熊本県)	x
4	富士宮市(静岡県)	819	14	津市(三重県)	621	4	日向市(宮崎県)	1,103	14	伊達市(北海道)	523
5	出水市(鹿児島県)	816	15	井原市(岡山県)	583	5	垂水市(鹿児島県)	943	15	網走市(北海道)	x
6	色麻町(宮城県)	x	16	いすみ市(千葉県)	583	6	横浜町(青森県)	x	16	厚真町(北海道)	x
7	三豊市(香川県)	738	17	三沢市(青森県)	575	7	南部町(青森県)	741	17	九戸村(岩手県)	502
8	盛岡市(岩手県)	726	18	大田原市(栃木県)	538	8	洋野町(岩手県)	668	18	新見市(岡山県)	471
9	八戸市(青森県)	721	19	美咲町(岡山県)	509	9	一関市(岩手県)	640	19	曾於市(鹿児島県)	455
10	村上市(新潟県)	706	20	茨城町(茨城県)	494	10	都農町(宮崎県)	588	20	出水市(鹿児島県)	450

資料：農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」
 注：鶏部門については、鶏卵及びブロイラーに区分して表章した。

(野菜部門の1位品目はやまのいも、果実部門の1位品目はりんごが最多)

- 部門別農業産出額の1位部門が米である東北の市町村は120市町村で、管内市町村数(227市町村)の約5割を占めています。米が土地利用型作物であることから、これらの市町村で管内耕地面積の約2/3を占めています。
- 野菜が1位となっている市町村の主要な品目をみると、青森県はやまのいも、だいこん、岩手県はトマト、キャベツ、ピーマン、宮城県はいちご、山形県はすいか、福島県はきゅうり、トマト、いちご、ピーマンとなっています。
- 果実が1位となっている市町村の主要な品目をみると、青森県はりんご、山形県はおうとう、ぶどう、りんご、福島県はももとなっています(図表3-8)。

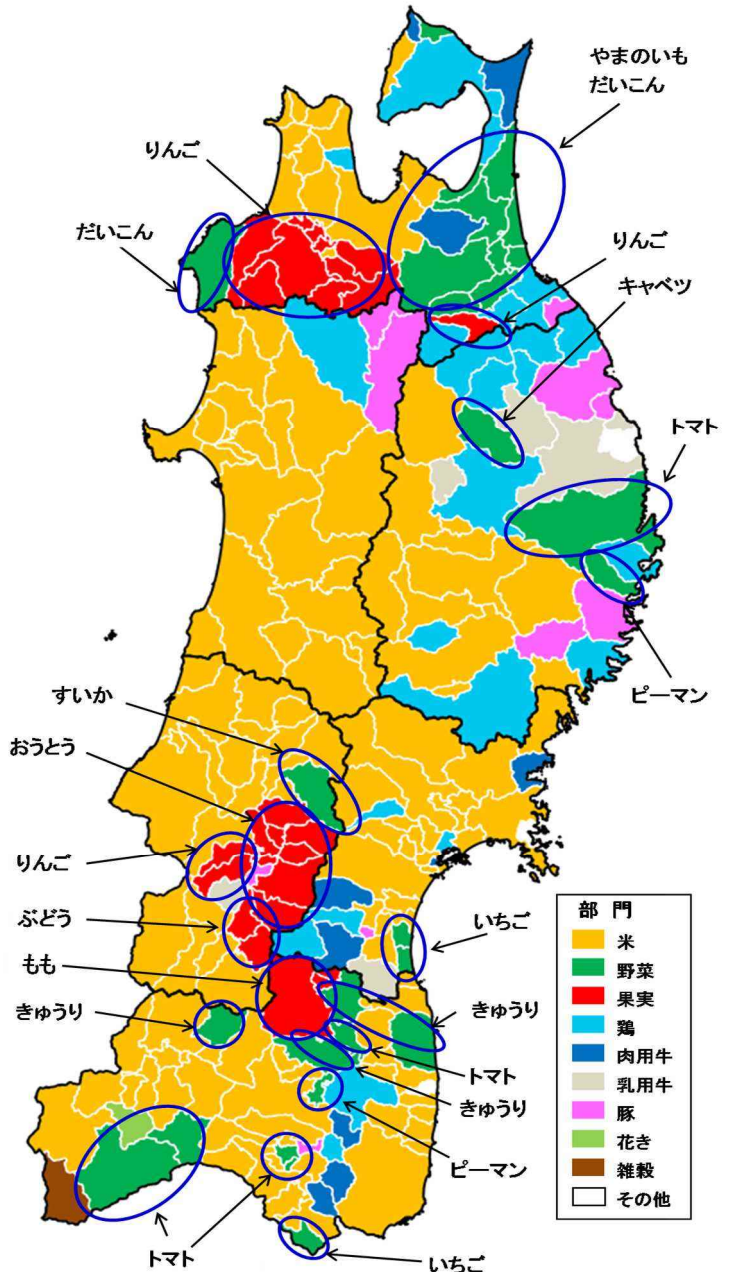
図表 3-8 市町村別農業産出額(野菜・果実)の1位品目と東北管内の分布状況(平成30(2018)年)

野菜が1位の市町村 (単位:1,000万円)

県	市町村	品目	当該品目の農業産出額
青森県	十和田市	やまのいも	197
青森県	三沢市	やまのいも	153
青森県	深浦町	だいこん	45
青森県	野辺地町	やまのいも	7
青森県	六戸町	やまのいも	114
青森県	東北町	やまのいも	304
青森県	六ヶ所村	やまのいも	129
青森県	おいらせ町	だいこん	174
青森県	五戸町	やまのいも	202
青森県	新郷村	やまのいも	31
岩手県	宮古市	トマト	10
岩手県	岩手町	キャベツ	143
岩手県	大槌町	ピーマン	3
宮城県	亘理町	いちご	171
宮城県	山元町	いちご	134
山形県	尾花沢市	すいか	313
福島県	二本松市	きゅうり	176
福島県	南相馬市	きゅうり	14
福島県	伊達市	きゅうり	233
福島県	川俣町	トマト	6
福島県	下郷町	トマト	10
福島県	南会津町	トマト	69
福島県	北塩原村	きゅうり	8
福島県	中島村	トマト	24
福島県	矢吹町	トマト	54
福島県	矢祭町	いちご	22
福島県	三春町	ピーマン	18

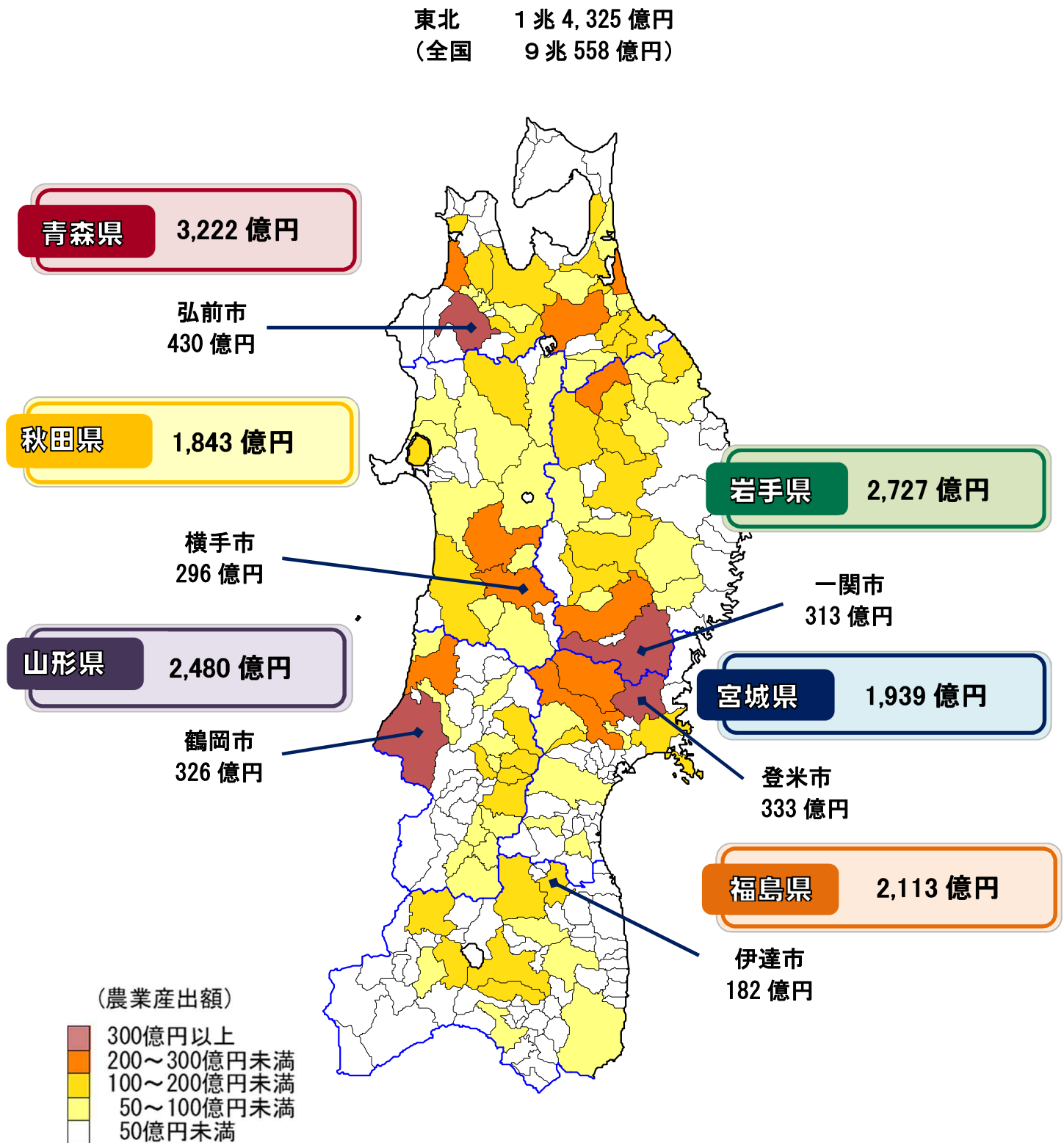
果実が1位の市町村 (単位:1,000万円)

県	市町村	品目	当該品目の農業産出額
青森県	弘前市	りんご	3,510
青森県	黒石市	りんご	510
青森県	平川市	りんご	669
青森県	鱒ヶ沢町	りんご	122
青森県	西目屋村	りんご	28
青森県	藤崎町	りんご	333
青森県	大鰐町	りんご	216
青森県	板柳町	りんご	609
青森県	鶴田町	りんご	414
青森県	三戸町	りんご	118
山形県	山形市	おうとう	219
山形県	寒河江市	おうとう	534
山形県	上山市	おうとう	238
山形県	村山市	おうとう	288
山形県	天童市	おうとう	734
山形県	東根市	おうとう	990
山形県	南陽市	ぶどう	162
山形県	中山町	おうとう	54
山形県	河北町	おうとう	279
山形県	朝日町	りんご	195
山形県	大江町	りんご	54
山形県	高島町	ぶどう	310
福島県	福島市	もも	423
福島県	桑折町	もも	153
福島県	国見町	もも	161



資料:農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」

図表 3-9 農業産出額（平成 30(2018)年）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」、「市町村別農業産出額（推計）」
 注：1）全国は、全国を単位とした推計値、東北は県別推計の積み上げ値である。
 2）表示した市町村は、各県内で農業産出額が最も多い市町村である。

2. 農業経営の動向

(1) 農業経営体の経営収支

(農業経営体の農業所得は4年ぶりに減少、収益性は酪農部門が最も高い水準)

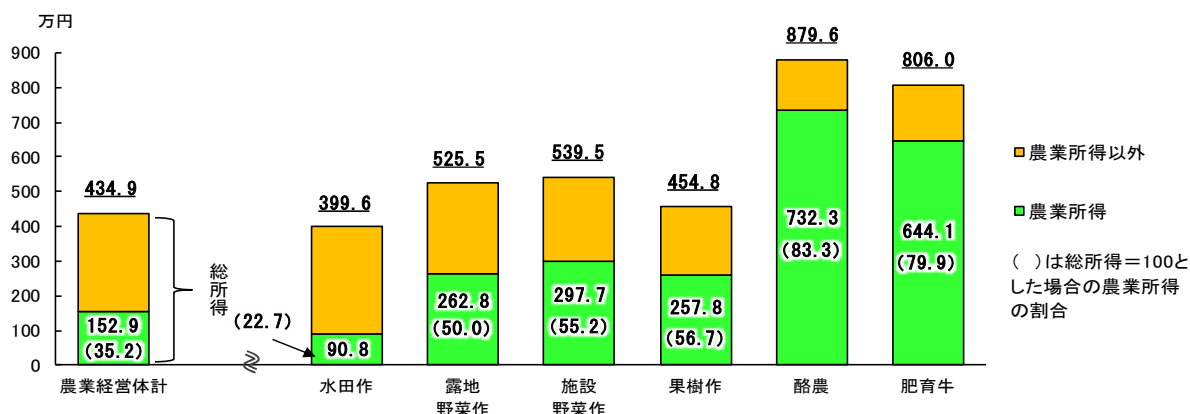
- 平成30(2018)年における東北の農業経営体(個別経営、販売目的)の1経営体当たり農業粗収益は、米の直接支払交付金の廃止や肥育牛の販売頭数の減少等により前年に比べ28万円(5.0%)減の532万1,000円、農業経営費は同3万2,000円(0.8%)減の379万2,000円となっています。この結果、農業所得は、同24万8,000円(14.0%)減の152万9,000円と4年ぶりに減少しました(図表3-10)。
- 農業経営体の農業所得を営農類型別にみると、酪農が732万3,000円で最も高く、次いで肥育牛が644万1,000円となっている一方で、東北の農業経営体の約7割を占める水田作は、90万8,000円と最も低くなっています(図表3-11)。

図表 3-10 農業経営体(個別経営)の経営収支(東北、1経営体当たり)

区分	実額(万円)				増減率(%)		
	平成27年 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)	H28/H27	H29/H28	H30/H29
農業粗収益①	486.0	529.7	560.1	532.1	9.0	5.7	△ 5.0
農業経営費②	342.9	363.3	382.4	379.2	5.9	5.3	△ 0.8
農業所得③=(①-②)	143.1	166.4	177.7	152.9	16.3	6.8	△ 14.0
農外所得等④	123.7	128.7	109.0	118.2	4.0	△ 15.3	8.4
年金等の収入⑤	159.6	169.6	173.8	163.8	6.3	2.5	△ 5.8
総所得⑥=(③+④+⑤)	426.4	464.7	460.5	434.9	9.0	△ 0.9	△ 5.6

資料：農林水産省「農業経営統計調査経営形態別経営統計(個別経営)」

図表 3-11 平成30(2018)年営農類型別にみた農業所得及び総所得(東北、1経営体当たり)



営農類型とは

農業経営体ごとに農畜産物の販売収入を「水田作、露地野菜作、施設野菜作、果樹作、酪農、肥育牛」等に区分し、それらのうち最も収入が多い区分へ分類(営農類型別)したものをいいます。

したがって、農業経営体が複合経営を行っている場合、当該経営体の農畜産物の販売収入には、最も収入が多い区分(営農類型)以外の販売収入も含まれています。

資料：農林水産省「農業経営統計調査営農類型別経営統計(個別経営、水田作、露地野菜作、施設野菜作、果樹作、酪農、肥育牛)」

(2) 営農類型別の経営状況

(1 経営体当たりの農業所得は露地野菜作経営、施設野菜作経営で増加)

- 平成30(2018)年における東北の主な営農類型別の1経営体当たりの農業所得をみると、露地野菜作と施設野菜作で増加した一方、水田作、果樹作、酪農、肥育牛では減少しています(図表3-12)。
- 露地野菜作と施設野菜作については、天候不順や作付面積の減少等によりトマトやきゅうりの生産量は減少したものの、価格が上昇したこと等から、1経営体当たり農業所得が前年に比べて露地野菜作は5.2%、施設野菜作は23.7%それぞれ増加しました。
- 水田作については、米価は堅調に推移したものの、米の直接支払交付金の廃止等により前年から16.5%減少しました。果樹作については、果樹の価格は堅調に推移し、りんごの生産量は増加したものの、もも、ぶどう、なしの生産量が減少したこと等から前年から1.9%減少しました。酪農については、生乳価格は堅調に推移したものの、飼養頭数減少による乳量の減少により粗収益が減少したこと、配合飼料価格の上昇による飼料費の増加等により、前年から22.2%減少しました。肥育牛については、仕入れ時期のもと畜価格が高騰し導入を見合わせる経営体が多かったことから、販売頭数が減少したこと等で粗収益が大きく減少し、前年から52.7%減少しました。

図表 3-12 水田作、露地野菜作、施設野菜作、果樹作、酪農、肥育牛の経営状況(東北・1経営体当たり)

区 分		単位	平成26年 (2014)	27 (2015)	28 (2016)	29 (2017)	30 (2018)
水田作	水田作作付延べ面積	a	201.9	203.4	205.5	211.7	220.3
	農業粗収益	万円	268	321	331	350	324
	農業経営費	万円	233	236	236	240	233
	農業所得	万円	35	85	95	109	91
	農業所得率	%	13.2	26.5	28.6	31.3	28.0
露地野菜作	露地野菜作作付延べ面積	a	89.2	98.4	98.0	99.7	101.6
	農業粗収益	万円	561	646	682	678	718
	農業経営費	万円	390	419	427	428	455
	農業所得	万円	171	228	256	250	263
	農業所得率	%	30.5	35.2	37.5	36.8	36.6
施設野菜作	施設野菜作作付延べ面積	m	2,244	2,372	2,373	2,402	2,405
	農業粗収益	万円	609	617	661	663	661
	農業経営費	万円	341	340	439	423	363
	農業所得	万円	268	277	221	241	298
	農業所得率	%	44.1	44.9	33.5	36.3	45.1
果樹作	果樹植栽面積	a	114.7	119.9	120.3	121.3	114.3
	農業粗収益	万円	573	611	660	655	655
	農業経営費	万円	370	359	378	392	398
	農業所得	万円	203	252	282	263	258
	農業所得率	%	35.4	41.2	42.7	40.2	39.3
酪農	月平均搾乳牛飼養頭数	頭	26.2	26.0	25.7	28.2	27.5
	農業粗収益	万円	3,150	3,225	3,406	3,731	3,638
	農業経営費	万円	2,512	2,531	2,538	2,790	2,905
	農業所得	万円	637	693	868	941	732
	農業所得率	%	20.2	21.5	25.5	25.2	20.1
肥育牛	肥育牛販売頭数	頭	54	44	40	43	39
	農業粗収益	万円	6,602	7,165	7,451	6,776	5,785
	農業経営費	万円	5,616	5,896	5,625	5,414	5,141
	農業所得	万円	986	1,269	1,827	1,362	644
	農業所得率	%	14.9	17.7	24.5	20.1	11.1

資料：農林水産省「農業経営統計調査営農類型別経営統計(水田作、露地野菜作、施設野菜作、果樹作、酪農、肥育牛)」

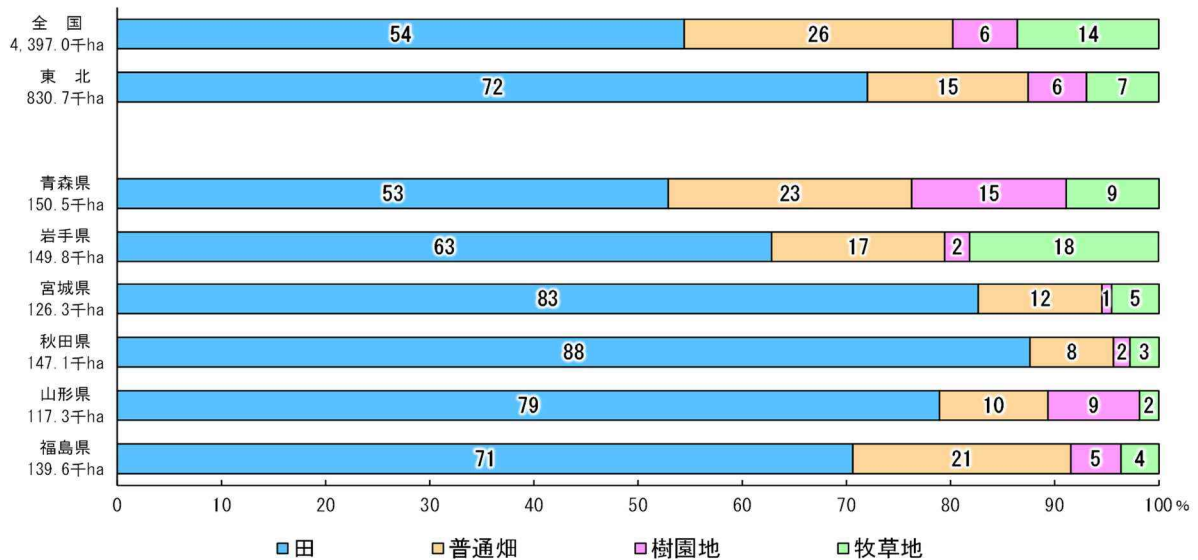
3. 農地利用の状況

(1) 農地の状況

(耕地面積のうち、田は72%)

- 令和元(2019)年における東北の耕地面積は83万700haで、全国の19%を占めており、青森県(全国第4位)、岩手県(全国第5位)をはじめ、各県とも全国上位に位置しています(図表3-14)。
- 耕地面積に占める田の割合は、全国平均54%に対して、東北は72%と高く、特に秋田県では88%、宮城県83%、山形県79%となっています(図表3-13)。また、青森県及び山形県では樹園地、岩手県では牧草地の割合が、全国平均を上回っています(図表3-13)。
- なお、青森県の田耕地面積は東北で最も小さいものの、りんごを主体とした樹園地面積が全国第2位であることなど、畑耕地面積が大きいことから、両者を合わせた耕地面積(田畑計)は東北で最も大きくなっています(図表3-14)。

図表 3-13 田畑別耕地面積の割合(全国・東北・県別)(令和元(2019)年)



図表 3-14 田畑別耕地面積(全国・東北・県別)(令和元(2019)年)

区分	耕地面積(田畑計)		田		畑		普通畑		樹園地		牧草地	
	面積	全国順位	面積	全国順位	面積	全国順位	面積	全国順位	面積	全国順位	面積	全国順位
	ha	位	ha	位	ha	位	ha	位	ha	位	ha	位
全国	4,397,000		2,393,000		2,004,000		1,134,000		273,100		596,800	
東北	830,700		598,300		232,400		128,200		46,400		57,700	
青森	150,500	4	79,600	10	70,900	3	35,200	7	22,300	2	13,400	3
岩手	149,800	5	94,100	8	55,700	5	24,900	13	3,560	23	27,200	2
宮城	126,300	8	104,400	4	21,900	21	15,000	19	1,190	44	5,730	6
秋田	147,100	6	128,900	3	18,200	23	11,800	21	2,330	34	4,100	8
山形	117,300	11	92,600	9	24,800	19	12,200	20	10,300	8	2,180	13
福島	139,600	7	98,600	5	41,000	11	29,200	9	6,710	11	5,100	7

資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」

注：統計数値については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。